

あの歌川広重も、富士山の連作を描いていた!!

# 広重く富士三十六景

## コレクション頒布会

限定150組制作!!

歌川広重（寛政9年～安政5年／1797年～1858年）は、風景画の第一人者として、生涯にわたって数多くの作品を描き続けました。今回新たに立ち上げた新頒布会では、富士山を主題とした浮世絵風景画三十六作品の揃い物をお届けいたします。

広重の富士山を題材とした三十六枚からなる揃い物は、一説にはライバルであった北斎の「富嶽三十六景」を意識したとも言える作品で、嘉永5年（1852年）より版元佐野屋喜兵衛より出版開始された「不二三十六景」と、広重没後の安政6年（1859年）に蔦屋吉蔵より出版開始された「富士三十六景」があります。今回コレクションとしてお届けするのは、最晩年の大作で、広重没後に出版された、「富士三十六景」です。風景印は、原則として、版画の場所を現在に当てはめた最寄り局で押印いたしますので、完成時には、貴重なコレクションとなることでしょう。

どうぞ、この機会をお見逃しなく、お早めにお申し込みください。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

### 富士三十六景

#### 東都一石ばし

一石橋は日本橋川に架かる橋で、日本橋より一本西に位置する。この橋の上に立てば、自らも含め、日本橋、呉服橋、常盤橋など8つの橋が見渡せることから、八つ見橋などの異名もあった。

画面手前から奥に向けて、一石橋、銭瓶橋（そこから先は道三堀）、道三橋となり、銭瓶橋すぐの堀の左に見える表長屋は館林藩六万石、秋元家の上屋敷である。

広重は安政3年（1856）の「名所江戸百景 八つ見のはし」でもこの橋の袂から江戸城、

富士山へと望む景色を描いているが、2年後のこの絵では、ほぼ同じ方向を望みながらも、やや視点を引いて一石橋を画面にかなり大きく取り込んでいる。橋の袂の柳の葉を青々と茂らせて夏の景としたところは両図とも同じである。

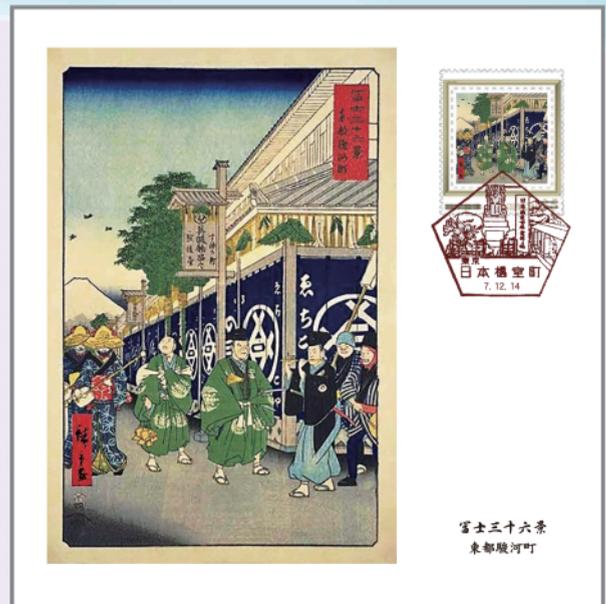
「富士三十六景」の目録にはこの絵が最初に記載されている。この揃物には江戸名所の筆頭で、江戸城・富士山とともに描かれるのが定番の日本橋がないので、その代わりとしての位置づけなのだろう。



富士三十六景  
東都一石ばし

2

### 富士三十六景



富士三十六景  
東都駿河町

#### 東都駿河町

駿河町は現在の日本橋室町一丁目と二丁目の間の通りで、江戸桜通りの愛称がつけられている。町名の由来はこの通りから富士山を望むことができたことによる。通りの両側を呉服商をはじめとする三井越後屋の店舗が占めていたが、現在でも日本橋三越本店、三井本館といった三井系のビルが建っている。

ここは早くから浮世絵に描かれる江戸屈指の名所であり、通りのほぼ正面に富士山を見通し、両側に三井の店舗が向かい合う構図が定着していた。霊峰富士という画題の吉祥性

もあって、絵の季節は正月に設定されることも少なくない。北斎の「富嶽三十六景 江戸駿河町三井見略図」でも空には凧が揚がっている。

広重も繰り返しこの地の風景を名所絵に仕立てているが、「富士三十六景」は両面の横幅が狭い整絵なので、通りの片側だけを画面に取り込んでいる。路上に描かれる人物群は向かって右から、大神楽、三河万歳、鳥追いというように、いずれも新春に家々を門付けして回る人々である。

3

### ◆解説者紹介◆

大久保 純一（おおくぼ じゅんいち）氏：1959年徳島県生まれ。1984年、東京大学大学院美術史学専攻修士課程終了。美術史家。現在、国立歴史民俗博物館名誉教授、町田市立国際版画美術館館長、すみだ北斎美術館館長。専門分野は日本近世絵画史。浮世絵、江戸後期の風景画を研究。主な著書に『広重と浮世絵風景画』、『カラー版 浮世絵』、『千変万化に描く 北斎の富嶽三十六景』など多数。

### 解説者近影▶



※リーフは制作中の見本です。

# 限定150組制作!! 広重く富士三十六景コレクション頒布会

## ◆商品仕様◆

- 切手：広重「富士三十六景」オリジナルフレーム切手85円
- マキシмумカード：147×152mmサイズで、オリジナルフレーム切手85円1種貼り。全36枚。

- 消印：原則として、タイトルとしてつけられている地にゆかりのある郵便局の風景印を押印。

※弊社ではより良いコレクションをお届けできるよう、郵便局に押印をお願いする際には、鮮明な印影をお願いしておりますが、郵便局の印の状態や押印技術等により押印状態の良くないものが届く場合がございます。再制作は出来かねますので、誠に遺憾ながら、押印状態の良くないものでも商品としてお届けする場合がございます。何卒、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

- リーフ：解説付きリーフにマキシмумカードを収める。  
リーフ構成は、本文36枚、扉1枚、目次1枚、表紙目録1枚(プレゼントリーフ)の合計39枚を予定。  
※頒布順および押印局は予告なく変わる場合がございます。

- バインダー：専用バインダー：全1冊を頒布予定。  
(詳細につきましては、第2回頒布時にご案内いたします。)

## ◆リーフ解説◆

「木曾海道六拾九次之内」「国際文通週間 富嶽三十六景切手コレクション」などの解説でおなじみの大久保純一氏。

## ◆頒布内容◆

毎月1回3リーフ(全36リーフ)を頒布。  
※第1回目のお届け時にプレゼントリーフを、第3回目の専用バインダーお届け時に扉リーフを、最終頒布時に目次リーフをお届けします。

## ◆頒布期間◆

2026年1月～2026年12月(全12回)

## ◆頒布価◆

毎月3,300円(税込・荷造送料毎月別途)

## ◆お支払い方法◆

毎月の頒布品をお受け取り後、その都度の後払いとなります。

お申込み番号 **99-2283**

お申込み締切日 **2025年11月29日(土)**

※限定数での募集のため、募集人員に達し次第、締め切らせていただきます。

シリーズの細目を記した目録の図版をマキシмумカードにし、総論を記したリーフに収めたものをプレゼントいたします。



頒布予定のマキシмумカードより

※マキシмумカードは制作中の見本です。



頒布回	頒布月	リーフページ	葛屋吉蔵より出版の作品タイトル	場所	押印局
第1回	2026年1月	1	表紙目録 *プレゼント	東京都	京橋通
		2	東都一石ばし	東京都	日本橋南
		3	東都駿河町	東京都	日本橋室町
		4	東都数奇屋河岸	東京都	銀座並木通
第2回	2月	5	東都佃沖	東京都	リバーシティ21
		6	東都御茶の水	東京都	御茶ノ水
		7	東都両国	東京都	両国
第3回	3月	8	東都墨田堤	東京都	向島
		9	東都飛鳥山	東京都	飛鳥山前
		10	雑司かや不二見茶や	東京都	雑司が谷
バインダー 扉リーフ					
第4回	4月	11	東都目黒夕日か岡	東京都	下目黒
		12	鴻之台とね川	千葉県	市川国府台
		13	武蔵小金井	東京都	小金井
第5回	5月	14	武蔵多満川	東京都	日野北
		15	武蔵越かや在	埼玉県	越谷
		16	武蔵野毛横はま	神奈川県	横浜赤門
第6回	6月	17	武蔵本牧のはな	神奈川県	横浜本牧元町
		18	相州三浦之海上	神奈川県	三浦三崎
		19	さがみ川	神奈川県	厚木
第7回	7月	20	相模七里か濱	神奈川県	鎌倉七里ガ浜
		21	相模江之島入口	神奈川県	江ノ島
		22	はこねの湖すい	神奈川県	箱根町
第8回	8月	23	伊豆の山中	静岡県	湯ヶ島
		24	駿河薩々之海上	静岡県	由比
		25	駿河三保之松原	静岡県	清水三保
第9回	9月	26	東海堂左り不二	静岡県	吉原
		27	駿遠大井川	静岡県	島田本通
		28	伊勢二見か浦	三重県	二見
第10回	10月	29	信州諏訪之湖	長野県	諏訪
		30	信濃塩尻峠	長野県	塩尻中町
		31	甲斐御坂越	山梨県	河口
第11回	11月	32	甲斐大月の原	山梨県	大月
		33	甲斐犬目峠	山梨県	上野原
		34	下総小金原	千葉県	松戸北
第12回	12月	35	上総黒戸の浦	千葉県	木更津
		36	上総鹿楚山	千葉県	君津大和田
		37	房州保田ノ海岸	千葉県	保田
目次リーフ					

※作品タイトルは山梨県立博物館での呼称に準拠する。

※参考 Web サイト：博物館資料のなかの『富士山』：山梨県立博物館  
-Yamanashi Prefectural Museum-  
不二三十六景 - Wikipedia